

十月七日十リ右近將監殿御差置ニテ三宿ノ者
共安藤彈正少弼宅ニテ申渡東海道品川宿食賣
女南北品川旅籠屋一軒貳人步行新宿八一人宛
之所以來本宿之無差別一軒ニ何人ト不限一宿
都合五百人迄八名抱候事板橋千住兩宿食賣女
モ本宿旅籠屋一軒貳人千住之内小塚原町中村
者一軒壹人之所品川同様已來一宿百五十人迄
八名抱候積十リトイフ此事祠曹ニ関カラスト
イハトモ三曹通知スルモ可ナラシカ
俗事ニ役セラル、僧徒ハ口僻ニ法用繁多寸暇

ナシトイフ小寺ノ住持大寺ノ役僧又ハ金貨ナ
トスル坊主ニ至テハ天窓ノ圓キトイフ迄ニテ
世話ノ煩ハシキヲ在家ノ身ト同シカルヘシ兼
好カ名利ニツカハレテ静ナル暇ナク一生ヲ苦
シムルコソ愚ナレトイヘルハ是十リ頃日隨園
詩話ヲ閱ルニ有僧見阮亭先生自稱應酬之忙頗
以爲苦先生戲云和尚如此煩擾何不出家間者大
笑余按楊誠齋有句云袈裟未著嫌多事著了袈裟
事更多トイフ唐ノ坊主モ同シ趣ト知ヘシ
往生ヲ以テ書ノ名トスル類七種アリ往生要集